

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月28日

上場会社名 山洋電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当

(氏名) 塚田 明

TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,747	△57.4	△1,830	—	△1,539	—	△1,912	—
21年3月期第1四半期	13,482	—	669	—	671	—	351	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△30.94	—
21年3月期第1四半期	5.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	55,340	35,578	63.2	565.83
21年3月期	59,675	37,214	61.4	592.70

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 34,969百万円 21年3月期 36,633百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	4.00	9.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	20,100	△28.6	△1,300	—	△1,250	—	△1,650	—	△26.70
通期	52,000	5.9	600	△54.6	500	△41.8	200	—	3.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 64,860,935株 21年3月期 64,860,935株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,058,318株 21年3月期 3,052,538株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 61,804,918株 21年3月期第1四半期 61,822,839株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年4月27日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を修正しています。上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における日本経済は、前期からの急激な景気の低迷により、依然として企業収益や個人消費の悪化など厳しい経済環境が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、第5次中期計画の最終年度をスタートさせ、すべての事業部門の製品や業務品質を業界トップレベルに引き上げるための諸施策に取り組みました。

しかしながら、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増し、主要顧客である産業用設備の業界においては特に需要の低迷が顕著でした。

その結果、当第1四半期累計期間における連結売上高は5,747百万円（前年同期比57.4%減）となり、連結営業損失は1,830百万円、連結経常損失は1,539百万円、連結四半期純損失は1,912百万円となりました。

事業部門別の営業概況は次のとおりです。

クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、業界トップの高風量・低騒音・低消費電力の新製品が数多く発売され、太陽光発電、燃料電池、LEDなどの新規市場の開拓や、新たな代理店の需要喚起に大いに寄与しました。

また、通信装置業界における第三世代移動通信装置向けに、中国を中心として大きな需要がありました。

一方で、従来からの大口需要先であったサーバ業界やファクトリーオートメーション業界からの需要は、低迷が続きました。

その結果、売上高は前年同期比39.9%減の2,642百万円となりました。

パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は業界トップの変換効率の小型UPSが通信業界向けに多くの需要がありました。

防衛省向けのエンジン発電機の需要は堅調に推移しましたが、公共・産業用太陽光発電向けのパワーコンディショナや生産設備向けの大型無停電電源装置は需要が低迷しました。

その結果、売上高は前年同期比18.9%減の1,058百万円となりました。

サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、サーボモータ、ステッピングモータ、およびそれらの駆動装置の新製品が多く発売されました。

アジア地域における新規顧客から設備用として大口受注を獲得しましたが、国内の設備産業である、工作機械・ロボット・半導体製造装置・射出成型機などの業界は、依然として大変厳しい状況が続いており、当社製品の需要も回復しませんでした。

その結果、売上高は前年同期比73.7%減の2,046百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は次のとおりです。

総資産が前連結会計年度末に比べ4,335百万円減少しました。増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が159百万円、受取手形及び売掛金が3,848百万円、未収入金が309百万円、繰延税金資産が396百万円減少しています。また、固定資産では、有形固定資産が264百万円、投資その他の資産が160百万円増加しています。負債は2,699百万円減少しています。主なものは、流動負債では短期借入金が769百万円、未払法人税等が36百万円増加、支払手形及び買掛金が1,880百万円、その他の流動負債が1,348百万円減少、固定負債では長期借入金320百万円の減少です。この結果、純資産は1,635百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金215百万円、為替換算調整勘定291百万円の増加、利益剰余金2,100百万円の減少によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、4,988百万円となり、前連結会計年度末より239百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間の営業活動による資金の減少は、134百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失1,539百万円、仕入債務の減少2,451百万円が、売上債権の減少3,797百万円を上回ったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間の投資活動による資金の減少は、638百万円となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出633百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間の財務活動による資金の増加は、441百万円となりました。これは主に、長期借入金による収入900百万円が、長期借入金の返済に伴う支出205百万円、配当金の支払247百万円を上回ったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成21年4月27日に公表いたしました平成22年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しています。詳しくは、本日別途公表いたしました「平成22年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 貸倒引当金の計上方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,250	5,410
受取手形及び売掛金	8,004	11,853
製品	3,246	3,109
原材料	4,454	4,863
仕掛品	3,477	3,363
貯蔵品	44	43
未収入金	519	828
繰延税金資産	311	707
その他	1,776	1,643
貸倒引当金	△30	△36
流動資産合計	27,055	31,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,490	10,459
機械装置及び運搬具（純額）	3,328	3,426
土地	6,222	6,215
建設仮勘定	2,027	1,677
その他（純額）	675	699
有形固定資産合計	22,743	22,478
無形固定資産	355	383
投資その他の資産		
投資有価証券	2,997	2,772
繰延税金資産	—	45
その他	2,193	2,212
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,185	5,024
固定資産合計	28,284	27,887
資産合計	55,340	59,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,498	5,379
短期借入金	7,777	7,008
未払法人税等	131	94
その他	2,372	3,721
流動負債合計	13,780	16,204
固定負債		
長期借入金	5,212	5,532
退職給付引当金	21	5
繰延税金負債	28	—
再評価に係る繰延税金負債	714	714
その他	4	4
固定負債合計	5,980	6,257
負債合計	19,761	22,461
純資産の部		
株主資本		

資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	13,947	16,047
自己株式	△981	△911
株主資本合計	34,352	36,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	128	△86
土地再評価差額金	1,062	1,062
為替換算調整勘定	△573	△864
評価・換算差額等合計	617	110
少数株主持分	609	580
純資産合計	35,578	37,214
負債純資産合計	55,340	59,675

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	13,482	5,747
売上原価	10,745	5,725
売上総利益	2,736	22
販売費及び一般管理費	2,067	1,853
営業利益又は営業損失(△)	669	△1,830
営業外収益		
受取利息	17	6
受取配当金	48	45
為替差益	—	84
その他	39	202
営業外収益合計	104	339
営業外費用		
支払利息	33	40
為替差損	51	—
その他	17	7
営業外費用合計	102	48
経常利益又は経常損失(△)	671	△1,539
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
その他	1	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	13	—
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	659	△1,539
法人税、住民税及び事業税	154	38
法人税等還付税額	—	△24
過年度法人税等	—	△19
法人税等調整額	150	393
法人税等合計	305	388
少数株主利益	2	△15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	351	△1,912

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	659	△1,539
減価償却費	562	628
売上債権の増減額(△は増加)	806	3,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,501	81
仕入債務の増減額(△は減少)	926	△2,451
その他	△432	△722
小計	1,021	△204
法人税等の支払額	△279	67
その他の収入	42	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	784	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,916	△633
その他	△90	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,006	△638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△337	900
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△118	△205
配当金の支払額	△309	△247
その他	△9	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,724	441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△417	92
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84	△239
現金及び現金同等物の期首残高	6,816	5,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,900	4,988

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「産業用電気機器の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載は省略しています。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米地域 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,723	1,704	2,053	13,482	—	13,482
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,650	5	2,784	5,440	(5,440)	—
計	12,374	1,710	4,838	18,922	(5,440)	13,482
営業利益	779	16	254	1,049	(380)	669

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米地域・・・アメリカ

(2) その他の地域・・・フランス、ドイツ、フィリピン、中国、シンガポール、韓国

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	北米地域 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,687	686	1,373	5,747	—	5,747
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,587	3	1,766	3,358	(3,358)	—
計	5,275	689	3,140	9,106	(3,358)	5,747
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,749	△ 58	13	△ 1,795	(35)	△ 1,830

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米地域・・・アメリカ

(2) その他の地域・・・フランス、ドイツ、フィリピン、中国、シンガポール、韓国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	東南アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	927	920	2,668	47	4,564
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	13,482
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.9	6.8	19.8	0.4	33.9

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりです。
 (1) 北 米・・・・アメリカ、カナダ
 (2) ヨーロッパ・・・・フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデン他
 (3) 東南アジア・・・・韓国、中国、台湾、香港、マレーシア、シンガポール他
 (4) そ の 他・・・・アフリカ、インド他

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	東南アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	365	486	1,489	16	2,358
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	5,747
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.3	8.5	25.9	0.3	41.0

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。
 2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりです。
 (1) 北 米・・・・アメリカ、カナダ
 (2) ヨーロッパ・・・・フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデン他
 (3) 東南アジア・・・・韓国、中国、台湾、香港、マレーシア、シンガポール他
 (4) そ の 他・・・・アフリカ、インド他

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産，受注および販売の状況

1. 生産の状況

事業部別 生産実績

(単位：百万円)

事業部門	前第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日
クリーニングシステム部門	4,394	2,899
パワーシステム部門	1,578	1,181
サーボシステム部門	7,916	1,917
合計	13,888	5,998

2. 受注の状況

事業部別 受注高

(単位：百万円)

事業部門	前第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日
クリーニングシステム部門	4,386	2,866
パワーシステム部門	1,825	1,442
サーボシステム部門	8,079	2,174
合計	14,291	6,483

3. 販売の状況

事業部別 売上高

(単位：百万円)

事業部門	前第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日
クリーニングシステム部門	4,394	2,642
パワーシステム部門	1,304	1,058
サーボシステム部門	7,783	2,046
合計	13,482	5,747